

Girl Power

一般社団法人ガールパワー

活動報告書

2020

2020年12月期活動概況 新型コロナ対策が中心だった1年

2020年は新型コロナのパンデミックにより世界中の人々が、社会活動、経済活動に大きな影響を受けた。一般社団法人ガールパワー（以下、ガールパワー）も例外ではなく、セミナー、ワークショップを中心とした啓発活動を中心としていた活動も中止・縮小を余儀なくされた。例年秋に開催していた年次パーティーも中止。その他、予定されていた各種セミナー、ワークショップも中止となった。

NPO・NGOの役割は社会課題の解決にあると考えられるが、2020年の全世界的な社会課題とはコロナ対策に他ならなかった。新型コロナの完全防止という直接的な課題だけではなく、コロナ禍によって大きな打撃を受けた人々、たとえばコロナによって引き起こされた企業の経済活動の縮小に起因する収入の大幅な減少、あるいは雇用の喪失、特に半数以上が非正規雇用であると言われるシングルマザーへの打撃は大きかった。それは経済的な打撃だけではなく、たとえば3月から4月に起きた深刻なマスク不足、トイレト紙やティッシュペーパーなどの衛生用品不足といった生活綿への打撃も大きかった。多くの家庭では、母親、父親のどちらか、場合によっては祖父母や（高校生以上の）子どもたちが、ドラッグストアやスーパーの店頭で朝早くから並び、マスク、トイレト紙などの衛生用品をなんとか確保していたが、家事も育児も仕事も、すべてワンオペでこなすシングルマザーにとってはそのような行動は不可能で、この問題はより深刻であった。子の課題に対処するためにガールパワーでは、母子家庭を対象としたマスク、トイレト紙などを配布した。この活動にはセイノー運輸などの大手企業やピース・ウインズ・ジャパンのような災害支援NGO、個人の支援者などから大きな協力を得た。

2020年においてコロナ対策は社会セクター全般にとっても大きな課題だった。特に医療者支援は、多くのNPO、NGOがそれまでの活動テーマを超えて取り組んだが、ガールパワーにおいても医療者支援を実施。さらに、母親支援の一環として保育園、子ども食堂など子どもに関する支援活動も行った。

6月以降はマスクなどの衛生商品も市場に十分に供給されてきたことから、コロナ感染予防のための啓発活動にシフトした。コロナ禍においては社会的課題も刻々と変化しており、ガールパワーとしても状況に応じたタイムリーな活動を行ってきた。

2020年12月期の主な活動

病院、保育園、母子家庭を中心に約15万枚のマスクを提供

大学病院でさえマスク不足に悩まされるほどの状況の中で、ガールパワーは独自のマスク調達ルートを確保。中国のマスク工場と取引を行っていた複数の輸入業者の協力を得て3月から4月にかけて約15万枚のマスクを調達。そのうち約14万枚はアメリカ、EUの基準を満たすサージカル・マスクおよびN95同等のDS2。病院にも提供していたことからマスクの品質にもこだわり、NHKのマスク監修も務めていた医療研究者などの協力を得て、品質管理も行った。主な支援先は全国の病院、保育園、母子家庭、学童、子ども食堂など。

コロナ感染予防のための啓発活動

主に全国の母子家庭を対象に7月、コロナ感染予防のための啓発フライヤーを配布。サージカルマスクと同等品質の子ども用マスクも同梱し、600世帯の母子家庭に配布した。また12月には、東京大学など世界の大学によるマスクに関する最新研究の知見をコンパクトにまとめた「マスクの正しい知識」啓発フライヤーを製作。子ども用のサージカル品質マスクを同梱し、佐賀市内の母子家庭50世帯に配布した。

母子家庭支援

上記の感染予防啓発に加え、佐賀市内の母子家庭50世帯に対して、トイレットペーパー600ロール、マスク約4000枚を配布した。



中国のマスク工場から空輸されたマスク



Test Report

Report No: TQT52200902009R1

Date: March 10, 2020

Page 3 of 4

Head harness	Disposable mask 10N, For 10s There should be no slippage or fracture	Untreated sample:	1a-2a did not show any breakage or slippage at the connection part between the headband and the mask.		body		
		Pre-treatment sample	1a-2a did not show any slippage between the				
Bacterial Filtration Efficiency (BFE) (%)	YY0469-2011 Appendix B Test bacteria: Staphylococcus aureus ATCC6538 measurement of area: 40cm ² Detection traffic: 28.3L/min Average particle diameter: 3.0 μm Positive QC value: 1.9 × 10 ³ CFU	≥99.0	Bacterial Filtration Efficiency (BFE) (%)	YY0469-2011 Appendix B Test bacteria: Staphylococcus aureus ATCC6538 measurement of area: 40cm ² Detection traffic: 28.3L/min Average particle diameter: 3.0 μm Positive QC value: 1.9 × 10 ³ CFU	≥95.0	BFE ₁ 99.9 BFE ₂ 99.7 BFE ₃ 99.6	PASS
Fluid Resistance (mm Hg)	ASTM 2100	120mm Hg	Fluid Resistance (mm Hg)	ASTM 2100	120mm Hg	126 mm Hg	PASS
Connecting and connecting parts	-	-					
Flammability Time of duration (s)	SS	Disposable mask	Pre-treatment sample				
		Untreated sample					
		Head mold nose lip displacement speed:					
		Flame temperature	807 °C				



This report shall not be altered, increased or deleted, the results shown in this test report refer only to the sample checked. Without written approval of TOT, this test report shall not be published in full and published as advertisement. TOT Physical Chemical Lab.
 101, 10th Floor, Building 1, 21 Huashan International Center, No. 101, Huashan Avenue, Phase 2, 200001 Shanghai, China
 Street, Longgang District, Shanghai, Guangdong, P.R.C.
 广东检测技术有限公司 检测服务部 地址: 上海市长宁区华山路101号 101楼 124室
 400.803.425 8
 Tel: +86 21 66488400/4007-567-008
 Fax: 021-66660008
 Email: tot@tot.com.cn
 Web: www.tot.com.cn

米国FDAのサージカルマスク基準BFE95を大きく上回るBFE99のマスクを提供



**Child & Woman Net Tokai
こども女性ネット東海**

**災害時に声をあげて！
妊婦・乳幼児・女性の命を守るために**

備えは？避難所は？災害発生後には早く日本の安心を取り戻すためにはどうすればよいのでしょうか。妊婦・乳幼児・こども・女性が災害時でも安心できる居場所があったら、どんなに心強いですか。こども女性ネット東海は、地域からこどもや女性の目線で活動しているNPOの専門家が集まり、互いに知識を出し合い、行動するために活動しています。

防災・新型コロナウイルス対策情報など
Facebookグループページから発信しています

こども女性ネット東海 検索

メールからもお気軽にお問い合わせください
office@cwnt.jp

FBグループ



〒462-0819 名古屋市北区平安1丁目9番22号
Tel: 052-919-0200/Fax: 052-919-0220

Our Vision

市民力も高め元気な人が、平常時から様々な課題を自分事とし、行動し、自然災害や疫病による困難も互いに支え合い、乗り越え、希望を持ち生き生きとける地域



マスク配布しています
どうぞご利用ください

マスク提供 一般社団法人 Girl Power

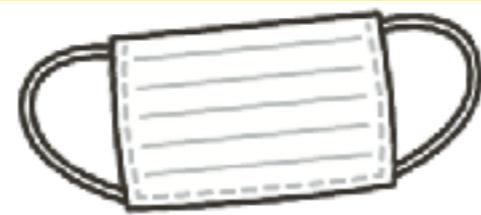
2歳以下のこどもは危険ですので
使用しないでください。
出典：公益社団法人 日本小児科医会



Our Mission

災害時も、平常時もこども・女性が主となり、すべての人に安全・安心な生活を届ける

- ・私たちの活動・
- ・強い地域の力を発揮し、社会に発信します。
- ・自然災害や疫病が発生するときに必要な支援のつなぎ、さらに返ります。その支援と支援をする人への支援します。
- ・避難所のマネジメントができる女性リーダーの養成を行います。
- ・中分地区には妊婦・乳幼児・こども・女性の防災の避難所ができるよう支援します。



感染予防に正しく手を洗いましょう！

6つのステップ

手洗いの手順

① 両手をこすり合わせる
② 手の甲をのびすようにこすります
③ 指と手の関節を交互にこすります
④ 親指も洗います
⑤ 前腕と手のひらをこすり洗います
⑥ 両手指も洗います

石けんで洗い終わったら、十分に水で洗い清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします

災害に備えて…子育てママの防災ポイント

- ①いざという時のための連絡方法を決めておきましょう
- ②家族にあった避難の方法を考えておきましょう
- ③家の中で安全な場所を確保しておきましょう
- ④おむつや紙おむつなど、必要に応じて準備しておきましょう
- ⑤防災はローリングストックしましょう
- ⑥災害時のトイレのことを考えましょう

防災と感染予防の啓発フライヤー。こども女性ネット東海との協働プロジェクト。
全国の母子家庭を中心に配布。（うち200枚は佐賀県にて配布）

その他の活動（コロナ関連以外の活動）

コロナ禍において、通常の活動の自粛を余儀なくされた1年だった。国連が定めた国際ガールズデー（10月11日）啓発のために、毎年9月から10月上旬に開催していた年次パーティーも中止となった。コロナ禍がまだ限定的だと思われていた2月上旬および第二波が収束し、GO TOトラベルにおいて東京が解除された10月1日前後にはチャリティ・イベントを開催。また「アンチエイジングフェア2020」に協賛し啓発活動を行ったが、11月中旬頃からの第三波の到来によって年末に予定していたセミナーなどのイベント開催もすべて中止となった。



2月9日

インドの少女に対する衛生教育提供のためのチャリティ・パーティー開催



9月28日

インド支援のチャリティ・サリーパーティー「ハーレム2020 in YOKOHAMA」



10月16日～18日

「アンチエイジングフェア2020」協賛。期間中にはフジテレビにて生放送もあり、代表理事池内ひろ美も出演。

佐賀支部の主な活動

3月	シングルマザーの就労支援としての「マザーシップ・プロジェクト」READY FOR にてクラウドファンディング実施 300枚（子ども用120枚含む）を佐賀市内の母子家庭50世帯を対象に配布（A-PADと協働）
4月	マスク300枚（子ども用120枚含む）を佐賀市内の母子家庭50世帯を対象に配布（A-PADと協働）
5月	サージカルマスク頒布を佐賀県内のCSOを対象に案内。（佐賀未来創造基金と協働。別紙参照）
7月	感染症対策啓発フライヤー及び子ども用マスクを配布。（全国で600枚配布。うち子ども用マスクは1/3を佐賀県で配布） こども女性ネット東海および、こども女性ネット佐賀（設立準備中）と協働。
12月	感染症予防として、マスクの正しい知識啓発フライヤーの配布、およびサージカル品質のマスク（大人用250枚、子ども用250枚）を佐賀市内の母子家庭を対象に配布予定。



母と子を守る「マザーシップ・プロジェクト」、おかげさまで目標達成できました。



Girl Power代表理事 池内ひろ美

この度は、Girl Power「マザーシップ・プロジェクト」クラウドファンディングへのご支援、ありがとうございました。おかげさまで目標を達成することができました。当初は、この五月からワークショップを開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で開催を白旗しておりました。最悪を待って実施したいと考えておりましたが、時期に関しても、状況次第となりますこと、事情に鑑みてご容赦ください。コロナ感染は子どもから大人まで、すべての国民に多大な打撃を与えていますが、母子家庭が受けているそれはより深刻だと言えます。半数以上が非正規雇用であり、子どもたちを守る人間は自分ただ一人、預めの職の保育所や学童も休止が相次いでいる。そんな母子家庭のための緊急支援をGirl Powerは行っています。これまで、600枚のマスク(うち子ども用450枚)とトイレットペーパー600ロールを母子家庭に配布、さらにマスク2800枚(うち子ども用900枚)を保育所、学童などに配布してまいりました。コロナ禍の中で進学不安を抱える高校生たちのために、紀伊製薬学会情報をまとめたパンフレットも6月には発行予定です。プロジェクト名もあり、母子家庭のための拠り所となるよう、活動を行っています。今後とも、ご支援、ご協力、よろしくお願いいたします。

医療用サージカルマスクを頒布いたします。

Girl Powerでは、医療者と子どもたちを守り、コロナ感染拡大を防止するために、医療用サージカルマスクを頒布しています。これまで13万枚を超えるサージカルマスクを、病院、保育所、介護施設などに提供してきました。今回はプロジェクトをご支援いただいた方々にも特別にご提供させていただきます。(総数1万枚まで)米国FDAがサージカルマスクとして定義するBFE95基準を上回るBFE98の医療用マスクです。100枚単位、単価65円(税別、送料別)でご提供いたします。マスクが不足してお困りの方は、次のメールアドレスまで郵便番号、住所、名前、電話番号、希望枚数(100枚単位)を明記の上、お申し込みください。 info@girlpower.jp

佐賀県の母子家庭支援クラウドファンディング

佐賀県のシングルマザーを対象としたキャリア支援プロジェクト「マザーシップ・プロジェクト」立上げのためにREADYFOR?にてクラウドファンディングを実施。コロナ禍で医療支援以外ではまったく寄付が集まらない状況の中で目標達成。

(目標額100万円、達成額110,3000円)

当初はキャリア支援のためのワークショップ開催を目的としていたが、コロナ禍においてワークショップ開催が実質的に不可能になったこと、特に東京からスタッフ、講師が来ることへの抵抗感が地方には強いという地元スタッフの意見もあり、コロナ収束後に実施することに決定。状況を見ながら実施を検討しているが、コロナ禍の中でも実施できるリモート・ワーカー育成を開始すべく企画。2021年春には開始したい、クラウドファンディングによって集まった資金の一部は、寄付者の同意を得て、母子家庭のコロナ対策活動に使用した。

コロナ禍対策として感染症予防啓発。マスク、トイレトペーパーなど衛生用品の配布。



ピース・ウインズ・ジャパン (A-PAD) 、佐賀未来創造基金、セイノー運輸など多くの団体、企業および一般のサポーターの協力により、佐賀県内の母子家庭、保育園、学童、子ども食堂などにマスク、トイレトペーパーを配布。



マスク不足でお困りのCSOのみなさまへ 医療用サージカルマスク 佐賀県限定販売のご案内

マスクが不足して困っている。そんな方々のために一般社団法人ガールパワーではマスクを頒布しています。私たちは母子家庭のためにマスクを無償配布していましたが、保育園、学童などからも要望され提供範囲を拡大してきました。現在までに、3400枚のマスクを佐賀市内の母子家庭、保育園、学童などに配布しました。同時に、マスク不足に悩む病院、クリニックなどにも約10万枚のサージカルマスクを頒布してしました。世界的にマスク需要はさらに高まっており、マスク不足は今後もなかなか解消されないと推測されています。ガールパワーが頒布しているマスクは、欧米の基準規格をクリアしたサージカルマスクです。今回ご提供できるマスクは合計1万枚。マスクが購入できずお困りの団体様にご提供させていただきます。

【ご提供マスク概要】

医療用サージカルマスク
EU規格のFFP2クリア (BFE95相当)
箱入 (1箱50枚入)
1枚65円 (税別、送料込)
お申込 100枚単位
先着順
お支払い 銀行振込 (前払い)
商品発送 5月上旬

【お申込方法】

メールに下記項目を記載してお申込ください。

info@girlpower.jp (担当：竹井)

- 団体名 (企業名)
- 担当者名
- 送文枚数 (100枚単位)
- 郵便番号
- 住所
- 電話番号

〒840-0826 佐賀市白山2-1-12 佐賀商工ビル7階 市民活動プラザ101

一般社団法人ガールパワー

take@girlpower.jp



日本中がマスク不足に陥っていた4月に、佐賀県内のCSOを対象にサージカル・マスクを販売。中国の工場から買い付けることで、市場価格が1枚85円から100円程度だった時期に1枚65円の価格を実現した。輸入枚数に限りがあったことと、病院支援を優先させる必要のある時期だったことから、CSOに対する提供は佐賀県限定とした。フライヤーは佐賀未来創造基金の協力により佐賀県内のCSOに対して配布。

布マスクの「漏れ率」は100% 感染症を防ぐための マスクの知識

新型コロナなどの感染症を予防するために、マスクは効果があるのか？ これまで、医師など多くの医療関係者は、「マスクには感染者が他人にうつさない効果はあるが、自分を感染から守る効果はない」と語ってきました。しかし、東大など世界中の大学研究チームの実験によれば、マスクは「うつさない」だけでなく、「うつさせない」効果もあることが分かってきました。



最近の研究でわかってきたマスクの効果

マスクを着用することで新型コロナの感染リスクを2割以下に引き下げられる可能性がある。
(香港大学)

新型コロナウイルスを使用して行った実験によれば「マスク無しの場合にウイルスを吸い込む量」に対して、布マスクを使用した場合は約60~80%、不織布マスクでは約50%に減少する。
(東京大学医科学研究所)

空気中に漂う約0.3マイクロメートル以上の微粒子がマスクと顔の間に付着する漏れ率は、布マスクの場合「漏れ率100%」、フィルター透過試験を通過していない不織布マスクの場合81%、フィルター透過試験を通過している不織布マスクの場合は52%まで低下。(聖路加大学)

これらの実験結果から分かることは、フィルター試験をクリアした高品質な不織布マスクは、やはり新型コロナの感染予防に効果があると考えられることです。アメリカ食品医薬品局(FDA)は、バクテリア(細菌)を濾過率95%(BFE95と表記します)以上のマスクを「サージカルマスク」として定義していますが、一般の生活者の方も、これと同品質のBFE95以上の不織布マスクを使用することをお勧めします。なお、Girl Powerでは、BFE99%のサージカル品質のマスクを提供しています。同等品質の子ども用マスクもご提供できます。サージカル品質の子ども用マスクはなかなか入手が難しいかと思いますが、お子さまをコロナ感染から守るために、高品質なマスクを購入したいという方はぜひご相談ください。その他、マスクに関するご相談、ご質問は、下記のメール・アドレス宛にて受け付けています。ご不安、お日りのことがあれば、適宜なくメールでご相談ください。

感染予防のための

「正しいマスクの知識」啓発フライヤー

新型コロナは主に飛沫感染することがわかってきた。したがって、飛沫感染を防ぐという意味でマスク着用は非常に有効であることもわかってきた。

しかし、日本では医師や看護師でさえマスクに関する知識を持っておらず、一般生活者はほとんど何も知らない。そのため、若者を中心に布マスクでもコロナ感染を防げると考えている人が大多数である。

しかし、東京大学はじめ世界の大学による最新研究によって、感染予防に効果があるのは不織布マスクであり、特にフィルター・テストをパスしたマスク、すなわちサージカルマスク品質のマスクであることが実証されてきた。つまり、布マスクは感染予防の観点から言えば、ほとんど役に立たないことを意味する。

子どもたちをコロナから守るためにも、母親たちにはこの事実を知ってもらう必要があると考え、啓発フライヤーを作成し、サージカル品質のマスク(大人用、子ども用)と一緒に配布した。配布対象は、佐賀市内の母子家庭50世帯。